

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・春休みに入って、人出、売上共に良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・毎年2、3月は週末ごとにイベントを開催してきたため、時間はかかったが、同じ物を買うなら客は当商店街へ来てくれるようになった。特に今年は、毎週目玉商品を用意したことで、売上の増加につながっている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・今月は高額商品が売れたほか、高級時計の修理があったため、売上がかなり伸びている。それ以外の客の動きは良くないが、これまでの閉そく感が少し和らいだ感がある。
		一般小売店〔花〕（店長）	販売量の動き	・競合店の閉店で販売量が増えたため、売上も少し伸びている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・前年は東日本大震災の影響で買い控えの動きがあったため、今年は前年に比べると改善しているが、2年前の水準にはまだまだ届かない。
		百貨店（商品担当）	単価の動き	・百貨店では富裕客の動きが活発化しており、高額品を中心に売上が回復している。その結果、今月は来客数が減少したものの、客単価は上がっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・週末の天候が良くないため不安定であるが、客単価は横ばいで、来客数はやや回復傾向にある。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のマンションの入居が始まり、夜の8～11時ごろまでの来客数が増えたため、客単価の上昇につながっている。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・消費者による太陽光発電への関心が高まっており、今年度の補助金の期限が近づくにつれて受注が増えている。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・株価が上昇するなか、新生活関連の販売量も増加している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月は決算期でもあるため、仕事量はほかの月よりも多くなっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・エコカー減税の効果もあり、特にハイブリッド車の売行きが良く、全体を押し上げている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・エコカー減税に関する駆け込み需要で、新車販売の目標達成率は80%を超えるなど、好調となっている。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・円安が若干進み、株価も少し上がってきたため、客の気持ちが前向きになりつつある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今月は特にディナーの動きが良く、客単価は若干低いものの、団体客の予約などで連日満席となっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・月～水曜日を中心に平日の来客数が改善している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・中小規模の歓送迎会が増えているほか、リピート客の数も増えている。
		一般レストラン（店員）	来客数の動き	・春休みに入ると例年忙しくなるが、今年は前年以上の忙しさとなっている。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・前月までとは状況が一変し、今月中旬からは個人客、団体客共にかなり動き出している。今までの寒さが少し和らいだほか、東日本大震災から1年が経過し、旅行気分が高まってきた影響が大きい。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年は東日本大震災後の避難者による特需があったため、宿泊は前年比で悪化傾向にあるが、春休み以降は予想以上の動きとなっている。ただし、単価は低迷が続いている。一方、宴会関連も好調であり、新規の会議利用に加え、歓送迎会の受注が例年以上に増えている。	
	都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・客単価の低迷により、売上は米国の大型金融機関の破たん前には大きく及ばないが、1～2月には低迷していたレストランの来客数が増えつつあるほか、宴会も直前の予約が増加、宿泊も稼働率が90%以上の日が続いている。	
	都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・前年に比べて客室単価を少し下げているが、その分、稼働率が約6ポイント上がっている。	

	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・東日本大震災から1年となり、消費の動きが勢いを増しつつある。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・例年になく不調であるが、年度末を迎えて企業は多少動いている。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・取引先の販売状況が改善している。
	通信会社（経営者）	来客数の動き	・春は業界の一番の繁忙期であり、来客数が大幅に増加する。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・スマートフォンとのセット申込の割引が好調で、新規顧客の獲得にもつながっている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・寒い日が続き、桜の開花も例年に比べて遅いため、来客数が思ったほど伸びていない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・今年に入って3件の大型マンションを販売しているが、いずれの物件も集客状況は好調である。
	その他住宅[展示場]（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が増加傾向にある。
	その他住宅[情報誌]（編集者）	お客様の様子	・新築分譲マンションのモデルルームへの来場者数は前年比で伸びており、購入検討者も増加傾向にある。新規発売物件が増加するなか、好調物件も増えてきている。
変わらない	一般小売店[衣服]（経営者）	販売量の動き	・前年は東日本大震災の影響で衣料品販売が大きく減少したが、今年も前年の水準を上回るのがやっとである。当社店舗の半数では売上が前年並み、残りの半数では前年の96～98%となっている。
	一般小売店[事務用品]（経営者）	販売量の動き	・年度末は様々な商品の動きが良くなるが、米国の大型金融機関の破たん以降、商品が動かなくなっている。動いたとしても量が少ないなど、かつての年度末需要は消えつつある。
	一般小売店[菓子]（経営企画担当）	販売量の動き	・12月と3月の売上前年比を上位5店舗の平均でみると、関西は12月が92.2%で、3月が89.8%と、依然として不安定な状態が続いている。
	一般小売店[衣服]（経営者）	販売量の動き	・今月に入って不安定な気候が続いており、春物衣料の動きが非常に悪い。
	一般小売店[衣服]（経営者）	お客様の様子	・寒い日が多かった影響で、客の動きが鈍く、春物商材の売行きが悪い。
	一般小売店[菓子]（営業担当）	販売量の動き	・以前ほどの落ち込みはなくなっているが、上向している感はない。
	一般小売店[カメラ]（販売担当）	お客様の様子	・年配客が梅の観賞などに出かける回数が増え、卒業旅行などで若年客の動きにも活気が出る時期であるが、今年はそれらの動きが全くみられない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・依然として消費の動きは鈍く、衣料品では需要のカジュアル化が進んでいるほか、季節のずれによる悪影響も受けている。ただし、食料品は堅調であるほか、限定品やトレンド商品については、客の敏感な反応がみられる。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・大阪店はリニューアルオープンしたにもかかわらず、気温がまだまだ低いこともあり、来客状況は非常に悪い。それに伴って食料品の売上も苦戦しており、前年比で5%減となっている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・東日本大震災の影響で落ち込んだ前年に比べると、春物衣料を中心に好調であるが、2年前の実績は確保できていない。一部の商品を除けば、品質が良くても価格に見合わなければ売れない傾向が強まっている。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・今月は気温が低く雨も多かったため、来客数は伸びず、春物衣料の動きも悪い。3月11日以降も、来客数や売上は前年を若干上回っているが、2年前の売上には届いていない。
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・今月になっても春らしい天候には恵まれず、客足も前年に東日本大震災や競合他社のオープンで落ち込んだ反動を期待していたが、実際にはわずかな伸びにとどまっている。
	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・訴求力の強いイベントや商品によって来客数が増え、それ以外の商品の売上増につながるという傾向が続いている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・受注が見込めるのは特別優待の期間だけであるなど、全体的に購買意欲は低調である。

百貨店（販促担当）	単価の動き	・前年は東日本大震災の影響で落ち込んだため、今年の来客数は前年を上回る推移となっている。ただし、気温の低下で春物商材の動きが鈍く、客単価が前年を割り込んでいるため、売上は厳しい状況である。
百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も来客数の減少が続いている一方、食品を中心とした物産展の集客や売上は好調であるが、以前ほどの勢いはなくなりつつある。
スーパー（店長）	お客様の様子	・販売促進関連のイベントが自粛される動きはないが、売上は前年を少し上回る程度である。客の節電志向や原油価格の上昇、消費税率引上げが消費に与える悪影響は大きい。
スーパー（店長）	販売量の動き	・前年は東日本大震災によって水や加工食品などの特需が生まれたが、それらの反動を差し引けば、今月は前年並みとなっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・今月は動きが芳しくないが、前年の東日本大震災後に特需が生まれた反動であるため、判断が難しい。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・前年は東日本大震災後に買いだめが増えたため、単純な比較は難しいが、電池などを除けば堅調な動きとなっている。
スーパー（広報担当）	販売量の動き	・気温があまり上がらず、春物商品の動きは鈍い。その一方、前年の東日本大震災による特需の影響で判断は難しいが、ひな祭りや入園・入学、新生活といった季節需要の動きは堅調である。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・相変わらず購買点数は少ないままとまっている。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・前年は東日本大震災による特需で、水やガスコンロ、カップヌードルといった商品の売上が非常に伸びたが、今年はその反動で売上は前年を大きく下回っている。
スーパー（社員）	単価の動き	・来客数は前年比で増加基調にあるが、競合店による出店の増加に伴い、店頭価格が下落している。その結果、売上は停滞した状況が続いている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・セール品に需要がシフトする傾向が続いており、客単価が低下しているため、来客数が多少増えても売上増につながらない。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・ここ数か月は、他社との競争でたばこの売上が低迷しているものの、客の様子や来客数に大きな変化はない。
コンビニ（店員）	単価の動き	・近隣に競合店がオープンしたが、それほど影響を受けることなく、パンや弁当はよく売れている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・前月から更に悪くなっており、価格の安い商品だけが売れている。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・来客数は少し増えたが、実際に商品を購入する客は少ない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・年明け以降も水準としては円高が続いているほか、東日本大震災の影響が尾を引いているなど、良くなる材料がない。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・今月は冬型の気候が続いたこともあり、盛り上がりが見られなかった。新年度になれば売上は一度落ち着くため、このまま売り逃しにつながる。
その他専門店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・来客数や客単価、買上点数のすべてが悪化気味である。今年は花粉の飛散量が少ないため、花粉症の薬やマスク、クリーム関連の動きが非常に鈍い。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・新規事業もなく、大きな変化はない。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	販売量の動き	・販売量が増減する動きはみられない。
高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・気候不順で桜の開花が遅れ、観光客の動きにも影響が出ているため、販売量の減少につながっている。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・依然として、来客数は前年の水準を上回るまでには至っていない。
一般レストラン（経理担当）	それ以外	・週末の天気が悪く、気温も低かったため、客足が伸びていない。また、消費税率引上げに関する連日の報道により、消費者の節約ムードも強まっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・前月の落ち込みに比べると、今月は異動の時期でもあるため、少しは客の動きがみられる。

その他飲食 [コーヒー ショップ](店 長)	来客数の動き	・東日本大震災以降は、東日本の店舗では売上が前年の110%となっているが、西日本では前年並みで推移している。	
観光型ホテル (経営者)	単価の動き	・東日本大震災によって急激に悪化した業績が、ここへきて徐々に回復しつつあるが、デフレ傾向により客単価は大きく低下している。	
観光型旅館(団 体役員)	来客数の動き	・東日本大震災や台風の影響で、宿泊客数は依然として前年の90%前後となっているが、客1人当たりの消費単価や宿泊単価は、やや落ち着いている。	
都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・円安や株高の効果を期待していたが、原油価格の上昇などで良くなる兆しはみられない。	
都市型ホテル (マネー ジャー)	来客数の動き	・個人客が中心のレストランは比較的好調であるが、企業が中心の宴会部門は苦戦が続いている。宿泊部門も海外の観光客は戻りつつあるが、やはりビジネス利用が伸び悩んでいる。	
旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・前年の春休みに見送られた旅行需要が、今年の国内旅行に少し上乗せされている感はあるが、全体的に上向くまでには至っていない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・この時期は春休みや卒業、入学関係で昼間の動きが増えるほか、夜も歓送迎会で動きが出てくるが、今年の動きは例年並みとなっている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・今月に入っても寒い日が続いているにもかかわらず、乗客が増えている感はないなど、客が利用を控える動きが続いている。	
競艇場(職員)	単価の動き	・3か月前から客単価に変化はない。	
その他レジャー 施設[イベント ホール](職 員)	お客様の様子	・イベントの開催状況はほとんど変わらないが、入場者数がやや少なくなっている。ただし、人気のあるアーティストの場合はグッズの売行きにも変化はなく、特に減少している感はない。	
その他レジャー 施設[飲食・物 販系滞在型施 設](企画担 当)	来客数の動き	・東日本大震災の影響を大きく受けた前年に比べれば良くなっている。ただし、それは海外からの観光客の動きによるものであり、国内客の需要は強くない。	
美容室(店員)	来客数の動き	・季節の変わり目で来店はみられるが、客の来店周期が伸びている感がある。	
その他サービス [保険代理店] (経営者)	お客様の様子	・株高、円安が進んでいるものの、確実に景気が良くなっていく実感がないため、客の動きにも勢いが無い。利益の出ている企業も内部留保している状況であるなど、景気の良くなる実感が出てこない限り、本格的な回復にはつながらない。	
その他サービス [ビデオ・CD レンタル](エ リア担当)	販売量の動き	・CDレンタルやDVD販売、書籍関連は前年比でおおむね好調となっているが、価格競争の激しい地区では、レンタルと販売の総売上は前年割れが続いている。	
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・消費税問題の動向や景気の先行き不透明感により、買手だけでなく、住み換え客による売却の動きにも影響が出ている。中古物件もあまり市場に出ておらず、市場全体が停滞気味となっている。	
住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・株価の回復や円高傾向からの脱却はまだ確実ではなく、企業の投資マインドが好転する材料に乏しい。	
住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・転勤、異動で不動産が動く時期であるが、今年は大きな動きはみられない。また、新築物件についても、今必要としている客だけが動いている。	
その他住宅投資 の動向を把握で きる者[不動産 仲介](経営 者)	販売量の動き	・事業用不動産の取引件数は横ばいであるが、戸建住宅は少し取引件数が増加している。	
やや悪く なっている	一般小売店[鮮 魚](営業担 当)	販売量の動き	・販売量は前年比で15%減となっているが、特に上等な商品ほど減少が激しい。
	一般小売店[自 転車](店長)	お客様の様子	・買い換えたいが、お金がないという客が多い。春は進学や新学期で商品が動くはずであるが、なかなか動かない。
	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・前年が東日本大震災で落ち込んだため、今月の売上前年比は参考にならない。一方、気候や気温による影響もあるが、来客数が前年を下回っている

	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客からの引き合いや問い合わせが少なくなっており、春物衣料の売行きが思わしくないほか、高額商品の売行きにも陰りが出ている。
	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・来客数に大きな変化はみられないが、消費マインドの低下による影響が、依然として財布のひもは固い。まとめ買いや、ついで買いといった余裕のある買いではなく、吟味に吟味を重ね、必要な物だけを買っていく感がある。
	百貨店（婦人服）	販売量の動き	・気温の上昇や店舗の入替えて、客の動きが活発になっており、ファッション関連は比較的好調となっている。その一方、年末年始に比べて、食品や住関連はやや不調となっている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・卒業、入学を控えた買物でも、客の節約志向が感じられる。今月末まで寒さが続いたため、商品の動きが悪い。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・テレビの販売不振や前年の東日本大震災による特需の反動もあり、今月も来客数の減少がみられる。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の97%と下げ止まる気配がない。微減にとどまっているものの、経営への影響は徐々に広がっている。
	コンビニ（広告担当）	単価の動き	・前年は東日本大震災の影響で特需が発生したため、今月は前年比でみると良くない。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・気温が上がらないため、春物衣料の動きが悪い。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・今月も買い控えが続いており、単価の安い商品を購入する客が多い。
	乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・来客数は増加しているが、それ以上に単価が低迷している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・平日の夜などは商店街の人通りが全くなく、近隣の店舗にも客が入っている様子はない。
	観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・客足が伸びず、来客数は前年比で12%減となっている。
	旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・円安が若干進んでおり、海外旅行への客の関心が薄くなってきている。ゴールデンウィークに海外旅行を申請している客が、国内旅行に変更しているほか、例年であれば申請してくる客もためらっている。
	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・企業の関西離れが進み、客の間では雇用に対する不安の声が高まっている。
	競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,034円と、3か月前の10,639円よりもやや悪くなっている。
	美容室（店長）	販売量の動き	・今月は例年に比べて気温が低いため、セット販売を行っている化粧品の売行きが非常に悪い。売上も前年比で1～2割減少している。
	その他サービス【学習塾】（経営者）	来客数の動き	・前月に行った無料体験キャンペーンへの参加者が例年を下回った結果、この時期にしては生徒数が少ない。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・春の需要期になっても相談や問い合わせの動きは低調であり、購買意欲が高まっている感はない。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候不順により、商店街を訪れる客が少ない。
	スーパー（企画）	お客様の様子	・前年の省エネ家電のエコポイント制度に代わる消費喚起策がない。また、ガソリン価格の急騰により、消費者の間で生活防衛意識がかなり高まっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・どん底の状態であり、これ以上悪くなるかどうか、目が離せない状況にある。
企業動向関連	良くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・今月を上旬と中旬、下旬に分ければ、下旬になるにつれて減速しているものの、景気は良くなりつつある。
	やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き ・大学、専門学校からの新年度に向けた販促物の依頼では、紙だけでなく、デジタルでの作業効率を考えた要望が増えている。一方、通信や家電などの弱電関連の受注は、いまだに増えてこない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・当社には原子力発電関連の顧客が多いが、この分野での設備投資は低調である。ただし、関連技術を他分野に応用した投資が活発であるため、引き合いや受注が増えつつある。
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外 ・日々の受注、販売量は割と堅調に推移しているが、海外の顧客に活気があり、国内の顧客に活気がない構造に変化はない。為替は再び円高に戻りそうだが安心できないが、厳しい環境が少し和らいだ感はある。

	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注、売上共に増えている。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・電力不足の問題や、東日本大震災以降の省エネ意識の高まりで、設備の買換え需要が増えている。
	建設業（経営者）	それ以外	・住宅用地に関する問い合わせが増えている。
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・年度末となり、事務機器や店舗用品の配送が好調となっている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・購読数は減少傾向にあるが、折込件数の増加で収益が上向いている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・インターネット広告の注文が増えており、受注全体を押し上げている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の駆け込み需要で受注が増えている。
	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年よりも冷え込む日が多く、ドラッグストアではいまだに温感商材がよく売れている。飲食店でも、おでんを中心に売上が伸びている。
	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・チェーン店での日用品の荷動きは順調である。
	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・価格は下落気味であるが、受注件数は増えている。
変わらない	食品品製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前に比べて、得意先の小売店では販売価格が少し上がっているが、前年よりも物流が増えていることもあり、格安となっている商品もみられる。
	食品品製造業（経理担当）	それ以外	・寒さが長引き、売場の雰囲気は盛り上がらない。
	化学工業（企画担当）	それ以外	・原材料の輸入価格は比較的安定している。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は減少気味であるが、大きな変化はみられない。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・米国経済も回復傾向にあり、市場は良い雰囲気となっているが、3月としては受注が少ない感がある。
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・薄型テレビなどのAV関連商品の売行きは依然として厳しく、全体的な状況をみても厳しい状況が続いている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間の工事案件は相変わらず厳しい受注競争が続いており、官庁からの発注も低迷している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末から4月にかけての受注は少し落ち着いているが、新たな案件の相談はあるため、全体として大きな変化はない。
	通信業（管理担当）	それ以外	・市場価格は上がったたり下がったりで判断が難しく、どちらともいえない。
	金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の様子をみると、住宅の売行きは横ばいであるほか、製造業も売上が増えるまでには至っていない。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・最近では広告に大きな動きはないが、かといって企業が広告出稿を手控えている感もない。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・顧客企業は関西のメーカーが中心であるが、今のところ明るい様子はみられない。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・小売業の顧客企業の景況感は良くなっているが、これは季節変動によるものであり、景気の改善に伴うものではない。
	コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・来客数が徐々に減る傾向は続いているが、売上が前年を上回ったり問い合わせも増えたりと、全体として不安定な状態が続いている。
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・依然として円高水準が続いているため、低価格の輸入品が多く出回り、価格競争が激しくなっている。
	やや悪くなっている	食品品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き
繊維工業（団体職員）		受注量や販売量の動き	・1～2月は生産量も前年比で増えていたが、今月は受注が低迷している。
繊維工業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・販売量が前年比で20%減となっているほか、3か月前に比べても10%減少している。

	金属製品製造業（営業担当）	競争相手の様子	・前月の中旬以降、荷動きが悪いという同業者が増えている。
	一般機械器具製造業（設計担当）	取引先の様子	・受注量がやや減少傾向となっている。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・前年の売上を超える店舗がほとんどみられない。
	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	取引先の様子	・単価の下落がまだ続いている。
	悪くなっている	不動産業（営業担当）	取引先の様子 ・当地域から事業所が撤退する動きが続いている。それに伴い、事務所の空室が増えているほか、住宅の空室も増えてきている。
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き ・最近3か月の平均求人数が、前年比で20.2%増えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き ・大学に寄せられている求人数が、前年比で17.7%増と大きく増えている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き ・来年度の仕事が入ってきているが、雇用情勢は徐々に力強さを増している。大阪市は市長の交代で雇用や介護、福祉関連での変化が予想されたが、現時点でその兆しはない。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き ・求人数は徐々にではあるが着実に増加している。労働者派遣法案が大幅に修正されたことも、雇用ムードの改善につながっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き ・業界や業種で好不調の差がはっきりしているものの、円高の影響も少し落ち着きつつある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外 ・3か月前に比べて、新聞広告の動きは確実に良くなっている。特に、関西企業が元気を取り戻してきた感がある。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き ・本格的な回復とはいえないものの、大手企業を中心に製造業などの求人は増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・有効求人数が米国の大型金融機関が破たんした直後の水準に戻るなど、非常に緩やかであるが持ち直しの動きがみられる。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き ・東日本大震災の復興需要が各産業で高まり、雇用の増加につながっているといった声が、顧客企業からも聞かれる。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き ・新聞の求人広告の動きは悪くなっていないが、いまだに良くなっている兆候はみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・新規求人数の前年比は2か月連続で減少となっていたが、今月に入って増加に転じている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子 ・雇用調整助成金の支給件数は減ってきたが、依然として新たな問い合わせも見受けられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き ・大学生の卒業時期となったが、就職活動中の学生が3割近く残っており、非常に心配している。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き ・求人数が大きく改善している状況ではなく、不安定な雇用情勢が続いているため、転職市場も低迷している。優秀な人材は求められているが、全体的には動きの少ない状況が長引いている。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き ・管内では、新規求人数は建設や運輸、学術研究、宿泊、サービス業で大きな増加となり、特に請負業では前年比90%増と大幅に増えているが、複数企業が大規模な雇用調整を行ったため、有効求職者数が増加傾向にある。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き ・周辺地域の企業による事業の見直しなどに伴い、求職者が少し増えている。	
悪くなっている	-	-	-